

ここが使いやすい! 『ON!』の特色

歌唱
教材

ONGAKUを
はじめよう

1. リズムに乗って
2. メロディーに乗って
3. ハーモニーに乗って
4. 詩と音楽

創作
教材

ONGAKUを
ふかめよう

1. さまざまな表現
2. 豊かな声を目指して
3. 言葉と歌
4. 音楽を表現するために

器楽
教材

鑑賞
教材

シンプルで自由度の高い全体構成

はじめよう(『ON! 2』は「ふかめよう」) / 歌おう(歌唱) / 奏でよう(器楽) / 学んで知ろう、聴いて楽しもう(鑑賞) / つくろう(創作), というシンプルな構成なので、どこに何が掲載されているかわかりやすく、題材に合った授業を自由に組み立てていただくことができます。

Contents

『ON! 1』の目次

知る⇔演奏する 効果的で深い学び

「はじめよう」/「ふかめよう」や創作領域などの「知る・演習する」教材と、「演奏する・聴く」楽曲教材がリンクしているから、実感を伴いながら知識を身に付けたり、その知識をまた演奏や鑑賞に生かしたりと、学びをしっかりと定着させることができます。

「はじめよう」とギター2重奏と「ミュージカルの楽しみ」がリンクした「Edelweiss」の例(『ON! 1』p.84)

さまざまな編成で楽しめる器楽

リコーダー、ギターはもちろん、4手連弾、和楽器アンサンブルなど、さまざまなジャンル、編成の楽曲を用意しました。また、『ON! 1』ではギター・コード表、リコーダー運指表を観音ページ(p.98)に掲載したので、楽譜とコード表を同時に見ることができます。

観音ページを開いておくことで、運指を確認しながら演奏することができます。

写真・イラストでわかりやすい日本の音楽

『ON! 1』は和楽器(箏、三味線、尺八、篠笛)の奏法、平易な練習曲を掲載し、初心者も取り組みやすいよう配慮しました。『ON! 2』は能楽、文楽、琵琶楽を取り上げ、物語、舞台装置、謡など、あらゆる角度から生徒の興味を引きつけます。

『ON! 1』p.102

『ON! 2』p.80

「はじめよう」「ふかめよう」で音楽の基礎基本をおさえる

『ON! 1』p.4-11

「はじめよう」(p.4-11)は、音楽を形づくる要素の「リズム、メロディー、ハーモニー、言葉」を個別に取り上げ、体系的に学ぶことができます。

教科書『ON!』の中核をなす教材として、「はじめよう」(『ON! 1』)、「ふかめよう」(『ON! 2』)をご用意しました。「はじめよう」「ふかめよう」を中心に題材を構成したり、楽曲を演奏する際に基礎事項を確認したり、授業の導入に一部分を抜き出して使用したりと、さまざまにお使いいただけます。

『ON! 2』p.4-7

「ふかめよう」(p.4-7)は、「はじめよう」での学習を基礎に、「音楽表現の工夫」について編曲、発声、発音などさまざまな角度からアプローチします。

楽譜で、授業スピードに差がつく

五線に対して大きくはっきりとした符頭、歌詞が読みやすい書体、段間の余白、間延びしない五線の左右幅、そして目に優しい紙の色。「譜読みのしやすさ」は、授業の効率に少しずつ、大きな影響を与えるかもしれません。

MEMO……作品の背景
POINT……演奏のポイント
TRY……発展的な課題

従来は指導書のみであったような情報も教科書に掲載し、生徒の自発的な学習を促します。

創作で、主体的に表現する力を伸ばす

『ON!』は、創作による表現力の伸長にも力を入れた教科書です。ルールを設け、要素を一つずつ変えていく方法で、少しずつやさしいことから取り組めるよう配慮しています。もちろん「はじめよう」「ふかめよう」とリンクさせることも可能です。→本書p.7

『ON! 1』p.138

ポイントをおさえて西洋音楽史を網羅する

鑑賞のポイントを箇条書きと譜例によって提示。楽曲解説を読み解いていくと、楽曲全体の特質や価値が理解できるようになっています。高度に洗練された文章が、今後のより専門性の高い学習へと高校生たちを誘います。

西洋音楽史

西洋音楽史も簡潔にまとめ、鑑賞教材と上下に配置することで、歴史の前後関係がわかりやすくなっています(『ON! 1』)。

読ませる資料で世界の音楽文化を理解する

諸外国の音楽、郷土の伝統音楽、ポピュラー音楽などの資料も充実させました。説明文や写真だけでなく、そのジャンルや文化を理解するための課題や問いかけも用意しました。

世界の音楽文化

『ON! 1』p.112

『ON! 2』p.85